

テント一週一文(ら) —— 西山進さんの「漫画しんぶん」

(承前)

「秋ですね。山下さんは、果物は何がお好きですか」

「イチジク。あなたは？」

「私は栗」

「栗？ 栗よりうまい、と言うくらいだから、栗って不味いんじゃないの」

「そういう意味ですか？ あの美味しい栗よりも美味しい、という意味じゃないんですか」

「そうかもしれないけど、栗のことは知らない。で、西山進さんを知っている？」

山下さんは「知らない」と「知っている」の対を使いたくて私と話している雰囲気漂います。

「知っていますよ。西山さんの『漫画しんぶん』も知っています。ずいぶん前に「一週一文」で2回紹介しましたよ」

☆一週一文(に) http://npg.boo.jp/kieyuku/week_repo/170612kuriyama.pdf

☆一週一文(た) http://npg.boo.jp/kieyuku/week_repo/170904kuriyama.pdf

「その西山さんの『漫画しんぶん』の101号が出来ています。第2世紀に突入」

「第2世紀って『暮らしの手帳』並じゃないですか」

「第2世紀」突入で目出度いんだけど、西山さんは「謙虚」だからそういうことは言わないの」

「どうして「謙虚」を大きな声でおっしゃるのですか。幾分かの皮肉をこめているのですか」

「幾分じゃないわよ」

「お持ちですか？」

「ちょっとまってね」と、書類の入ったかばんを探しています。「あれ？ ごめんなさい、かばんに入れたつもりだったけど、忘れて来たわ」

「いえいえ、何かの時に見せていただければ結構です。ですが、私は以前の『漫画しんぶん』は知らないけれど、先回紹介した100号もそうですが、近頃の『漫画しんぶん』はテキストが多いように思いますね」

「そう言われればそんな感じもするわね」

「山下さんは西山さんの年齢に近いからテキストが多くなった理由が分るでしょう。西山さんは長崎で被爆したときに既に働いていたのですから、そのときに18歳だったとして、もう戦後72年だから……えっ、西山さんはもう90歳？」

「私は90歳じゃないけど……」

「何歳ですか？」

「テキストが多くなった気持ちは分るわ」

「何歳……？」

「世の中がね」と、山下さんは自分の考えていることしか答えません。答えたくない質問は無視するのです。

「世の中が散文的で軽薄になっているでしょう。そんな世の中のことを絵にしようとするとても大きなエネルギーが必要なのよ」

「散文的？」

「散文的っていうのはあなたには難しかったわ。軽薄って分るでしょう」

「言葉の意味は分りますが……」

「世の中が散文的で軽薄になっているって、私の年にならないと分からないかも知れないわね、普通の人。そんなに感じるようになったのは、私も最近ですもの」

「ですから幾つくらいになると感じるのでしょうかね、普通の人は」
「西山さんはね」と、山下さんは相変わらず自分の考えていることしかしゃべりません。

「・・・この世の中を絵にするのに絶望を感じてきたのかもしれないわね」

『漫画しんぶん』には脱原発の想いがいつもこめられているのですが、それに絶望して来たというのでしょうか」

「そういうつもりじゃないと思うわ。101号でも原発反対のメッセージが書き込まれているじゃない！ 村長さんが3.11の直後にここ九電前で泊まり込みの原発反対の運動を始めた時も、西山さんはすぐに駆けつけてきたのよ。ただ、西山さんは核、原発、戦争、差別、密告する制度、自由な活動を抑制する雰囲気などを全体として悲しく感じているのよ。ここに書いているように、空虚な言葉の羅列も大嫌いね」

「行動は尖鋭だけど、西山さんの絵のタッチはまるやかですね。西山さんが描くと批判の対象にしている人物も柔らかに見えますものね。西山さんの人柄が出ているのでしょうかね・・・」

と言っていると突然山下さんから言われてしまいました。

「あなたねえ、20回ほどの「一週一文」で3回も紹介するとは、相当の西山さんのファンなのね」

「ファンというより、西山さんを見ていると常識が服を着て歩いているように感じるんですよ」

「その通りね。あなたは、言葉の理解は遅いけど感性は私と同世代よ。常識的に判断出来る、他の人を慮って行動をする、そういう人が少なくなってきたのを軽薄で散文的な社会っていうのよ」

「そういうものですか。でも僕は…… 山下さんに『私と同世代の感性』とほめられても、吾心楽しまず、と言うか・・・」

「他人は心楽しまずとも、今日はいい天気」

「でも常識って変わっていくものでしょう」

「これでイチジクがあると『テントでパラダイス』なんですがね」

相変わらず、山下さんは自分が嫌な質問はスルーします。こうして、テントでの時間は過ぎていきます。

(以下 次号)

(文責 栗山次郎) 2017年11月27日公開/12月11日修正、追加)

☆西山さんの「漫画しんぶん 101号」(2017年11月刊)

http://npg.boo.jp/kieyuku/week_repo/171211manga_101.pdf